不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.115　（2025.10.27）

令和７年度スローガン
新たなるステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組　代表取締役　和賀幸雄

倫理法人会から毎週ＦＡＸで送付されてくる「今週の倫理」というペーパーがあり、先日興味深い内容が有りましたので紹介します。タイトルは**「決断力向上の鍵は捨てることにあり」**というもので内容は以下のようなものでした。

私達は選択する中で時として一方を捨てなければならないときが有ります。左右どちらかを選ぶとき、右を選ぶことは左を捨てることになります。挑戦することは安定を捨てることであり、「決断」という漢字は「決めて断つ」と書くことも納得できます。行動をためらう原因の多くは、「捨てる覚悟の欠如」にあります。所属する組織で責任ある者が選択を誤れば、大きな危険に直面したり、大きな損失を被ったりすることになるため、決断を躊躇してしまうことになります。一方で執着する心は決心を鈍らせます。何かを得ようとするならまずは捨てる覚悟を決めることが重要であるとの事でした。目標としていた高い山を登り切り、そこで満足して留まってしまうと、さらに高い山へは登ることは出来ません。進歩や向上はこれまで持っていたものを手放すことから始まります。「得ては捨て・捨てては得る」の繰り返しによって人は前進するのです。

“人生は選択の連続である”という言葉はかの有名なシェイクスピアの名言とされていますが、皆さんもそう感じることがあるのではないでしょうか。朝何時に起きるか、服は何にしようか、朝ごはんはパンかご飯か、目的地までどの道を通るのか、普通に生活していても多くの選択をして生きています。家電製品や車、あるいは不動産など大きな買い物をするときは色々な人に相談して決心することも多いと思います。進学先や就職先、あるいは結婚相手を決める時は究極の選択となるのではないでしょうか？

そこで今回は AI に「間違いのない決断をするにはどうしたら良いでしょうか」と聞いてみました。すると・・・・①自己決定の重要性：他人の意見や社会の常識に流されず自分で決める「自己決定」が非常に重要　②判断軸と選択肢の明確化：一番大事な問題を特定する・選択肢を洗い出す・選択肢を絞る・または優先順位をつける　③選んだ道を正解にする覚悟：重要なのは最初から「正解」の道を選ぶことではなく、「選んだ道を正解にする」という覚悟

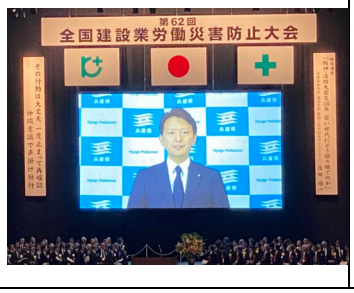
さすが AI ですが、あえて付け加えるならば私は**「高い判断能力を維持するためにストレスを溜めずに澄み切った心の状態を保つ」**ことを挙げたいと思います。常に適切な判断が出来る精神状態、これが一番大事ではないかと考えます。

要望会

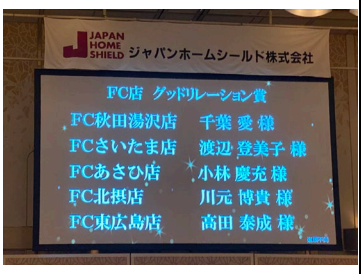
９月８日に開催された東北中央自動車道新庄湯沢間建設促進フォーラムの結果報告を兼ねて、湯沢市、金山町、湯沢商工会議所合同の中央要望会が、9/29 から二日間にわたり行われました。財務省・国土交通省・内閣府などの行政機関と、山形秋田両県選出の国会議員の皆様を訪問し、早期全線供用開始にむけた工事の発注と予算確保を要望して参りました。横堀道路は 11 月 22 日に供用開始となる見込みです。

建災防全国大会

10/2-3 と建災防全国大会が神戸市で開催されました。今年は雄勝建設業協会から田村組さんが表彰されております。大会スローガンは「その行動は大丈夫　一度止まって再確認　仲間意識で声掛け励行」で、自然災害部会では 1995 年の阪神・淡路大震災の企画展も開催されておりました。



JHS 全国大会



10/8 ジャパンホームシールド全国大会が開催され、当社地盤事業部千葉部長が FC 店グッドリレーション賞を受賞致しました。仙台支店や本部との情報のやりとりがスムーズであり、良い関係性が築かれたことが評価されたものです。